

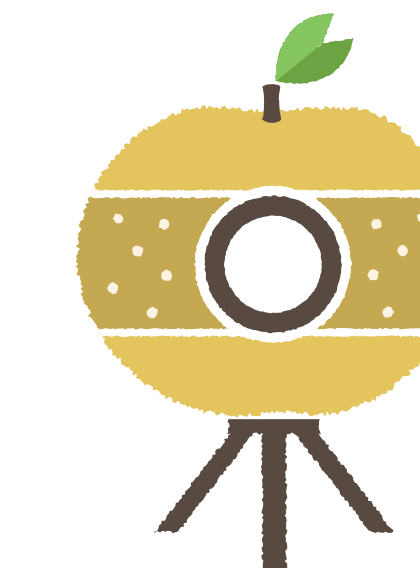
1

「あのね・・・（笑）！」

安岐 隆良



何か楽しそうな会話が聞こえてきそうな二人に思わずシャッターを切りました。
ここは、冬には白鳥と渡り鳥が来る七次川調整池、清水口小学校、
七次第一公園から西白井駅方面につながる並木道。
多くの人の安全な散歩コースにもなっています。



白井写真部

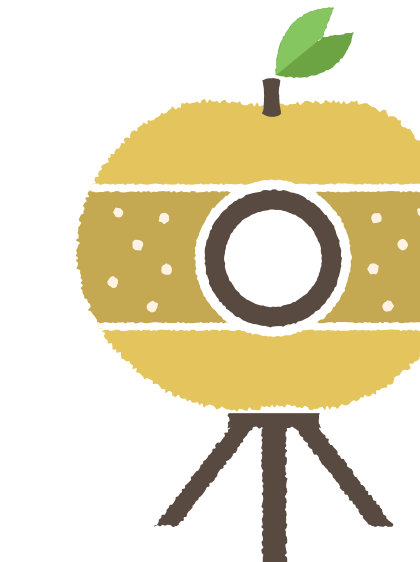
2

「見守る獅子」

益川 由紀子



子供の頃は正面から見ることはなかった神社の狛犬たち。
大人になって視線を変えると、正面の公園で遊ぶ子供を見守っているようでした。

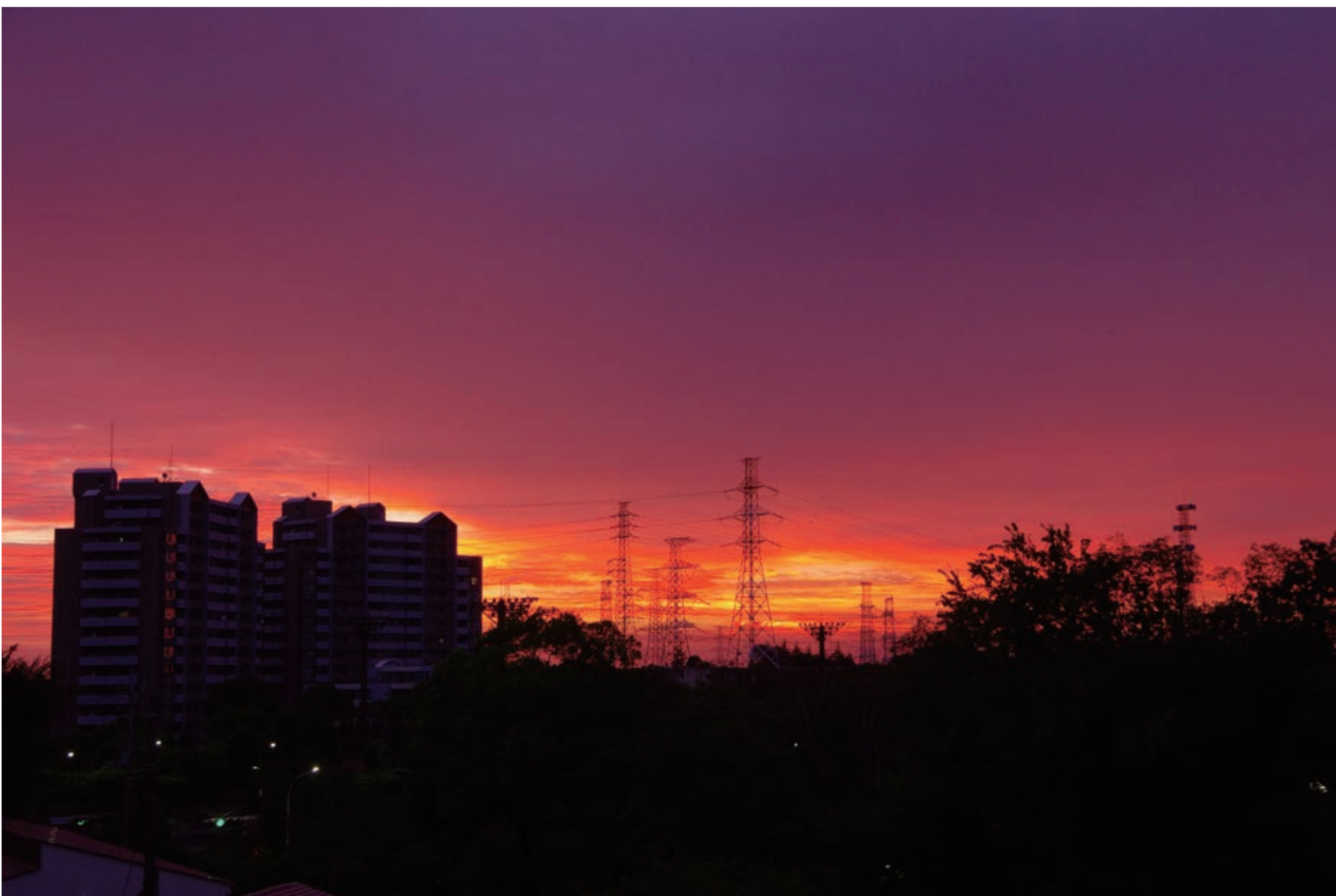


白井写真部

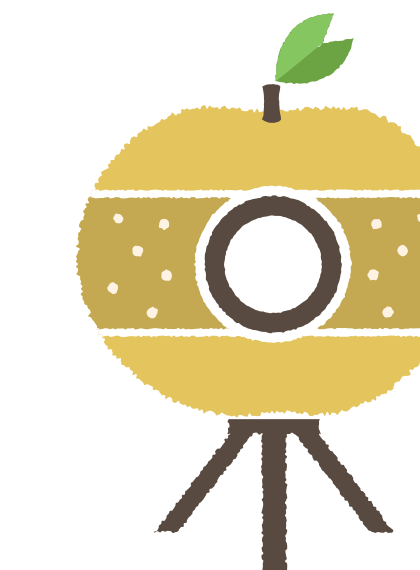
3

「暁光」

河村 峰雄



早朝に自宅窓から見える幻想的な朝焼け、
今日は良いスタートが切れそうな予感。



白井写真部

4

「窓明かりと花火を見上げる人々」

鴨島 実紀

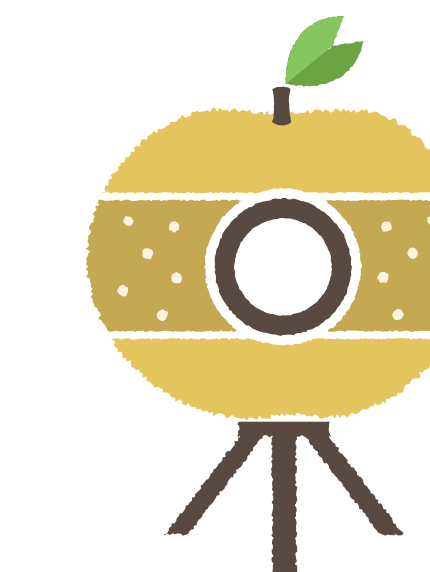


「白井夏祭り」は市で唯一花火があがるお祭り。

ふと目をやると、病院の窓明かりに照らされた人々が、
楽しげに花火を見上げている姿が見えた。

花火大会は、協賛や寄付に加えクラウドファンディングでも資金を募っている。

満額は集まらなかったようだが、無事開催されたことで、
様々な人たちに笑顔をもたらしたようだ。



白井写真部

5

「街は続くよ、いつまでも」

宮崎 定久

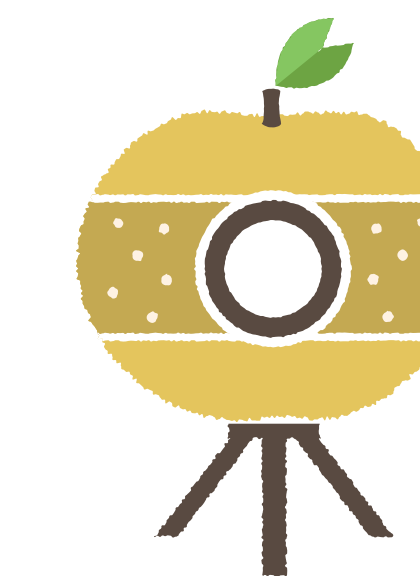


家族が増えて“ニュータウン”という響きに惹かれて移り住んできた場所。

広い空が彼方まで続いて……

真っ直ぐな道が向こうまで続く。

家族や愛犬といつまでも住み続けたい街、しろい。

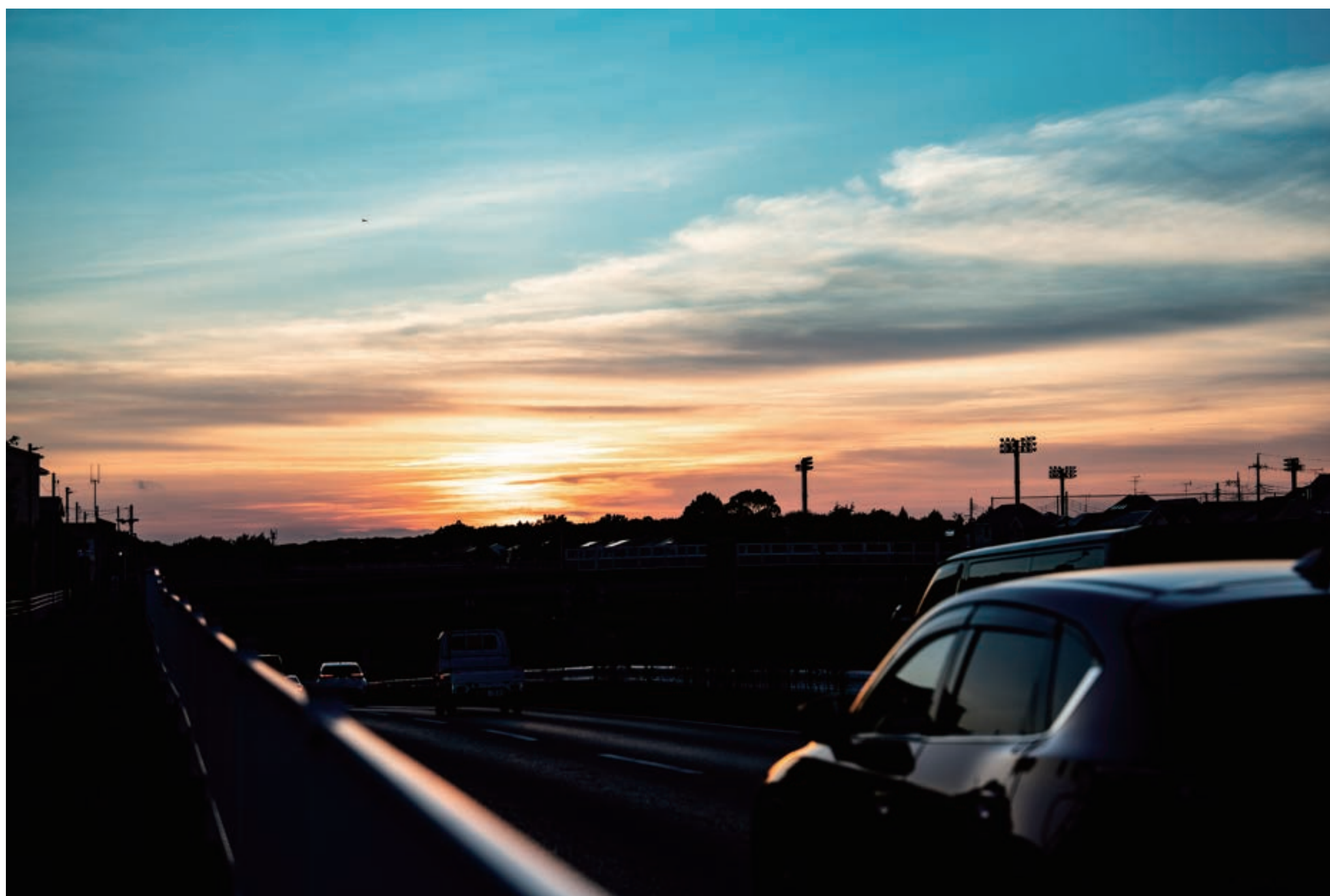


白井写真部

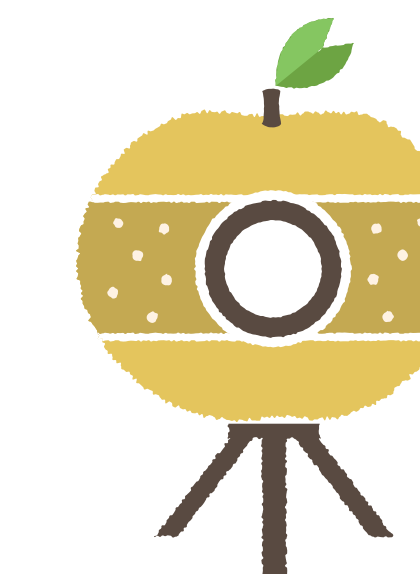
6

「あしたの色」

宮崎 有利子



夕暮れに広がる空のグラデーションは、まるで明日への希望を映すキャンバスのよう。
明日へと続く空に、未来や夢を思い描くひととき。



白井写真部

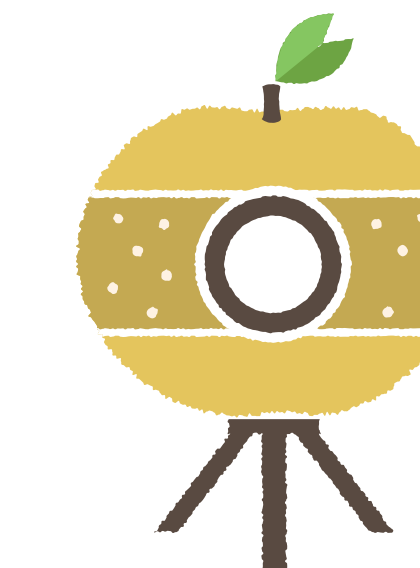
7

「線」

栗山 満



以前、白井市富士センターへ健康診断に行った折、
細い路地の空に電柱から張り巡らされた沢山の電線が目につき気になっていました。
先週の朝早く路地をやっと探し電線を撮影してしましたら、
ちょうど小学生が通りましたので撮影しました。
あとで良く見ましたら小学生が路面の線の上を注意深く歩く様子が見てとれ、
空を横切る沢山の電線とマッチしていると思いました。



白井写真部

8

「子供のびやかに育つ街」

佐々木 絢子

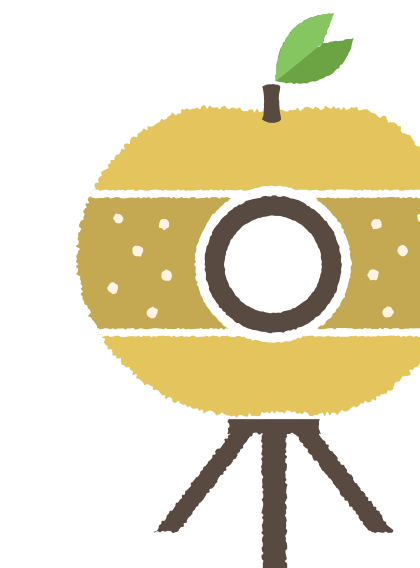


開放感のある広い空に、緑の木々。

自然が豊かな街の白井は、住んでいる方が穏やかに感じます。

地域ぐるみで大人やお年寄りとの交流が盛んなので、

子供たちも白井に愛着をもって成長出来ています。



白井写真部

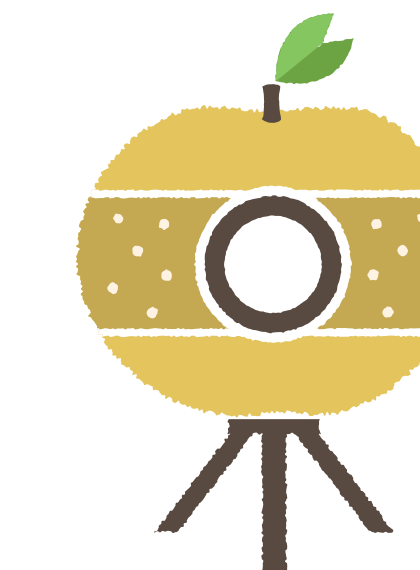
9

「幸せの原風景」

山浦 なつこ



豊かな自然が広がる南山公園に、朝から虫取りに行ったときの1枚です。
トンボを夢中で追いかける姿を、
影まで全て小道に入れようとタイミングを合わせて撮影しました。
この街で過ごす何気ない日常が、
人生の宝物になってほしいと思います。



白井写真部

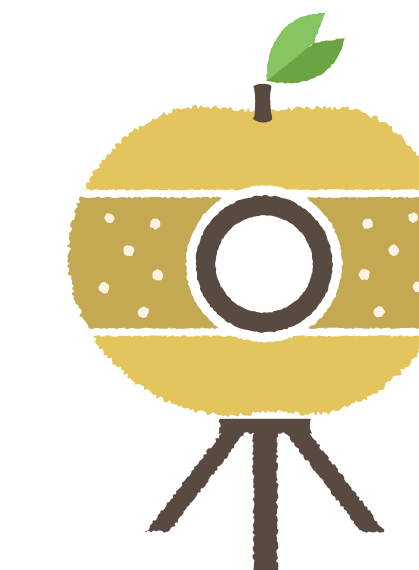
10

「親子でランニング」

山下 繁美



桜並木の落ち葉の中を、親子でランニングしている姿に、
住み続けたい街をイメージして撮影しました。



白井写真部

「もう少し歩いてみようよ」

山本 浩



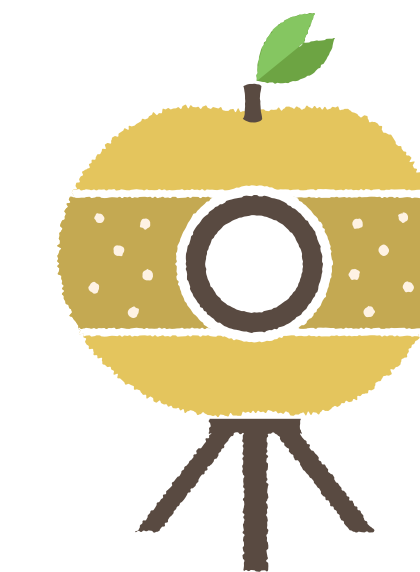
桜台十余一公園から続く遊歩道。

毎日の散歩コースは、犬任せ。

この道の先には見知らぬ風景だけではなく、
何か素晴らしい人生が待っているような...

そんな気がしてわくわくしながら、

今日もこの街をもう少しだけ歩いてみます。



白井写真部

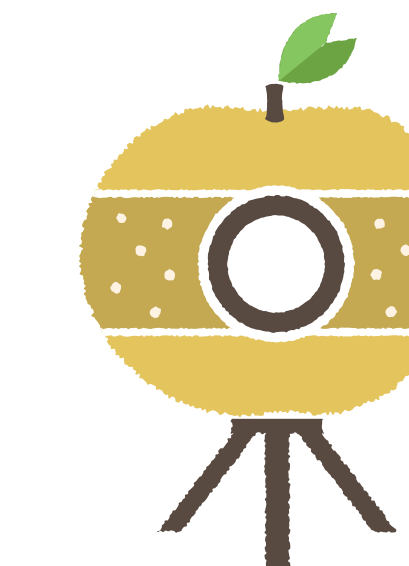
12

「夏休みの思い出」

山本 泰雅



白井市の豊かな自然に抱かれた夏の日、
甚平姿のわが子が手にした一匹のカブトムシ。
その小さな命とのふれあいは、都会では味わえない感動と発見に満ちていました。
土の匂い、木漏れ日、虫の鼓動
この街だからこそ育まれる、心に刻まれる夏休みの記憶です。



白井写真部

13

「秋の彩り」

小野 久子



豊かな自然や歴史遺産が沢山あるわが白井。

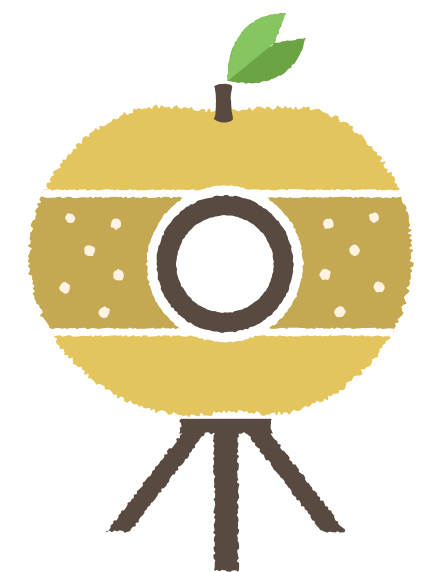
西福寺には幹回り 510 cm の公孫樹、秋には黄金の紅葉が素晴らしい。

仏法寺前は折立菖蒲園。歴史ある宿場町も近くに。

今回の写真は鷲神社です。長い階段の上から眺める風景は里山。

眼下には稲穂が実り田園風景が広がってます。

趣味の写真を撮楽しむこともでき、好きなわが街白井です。



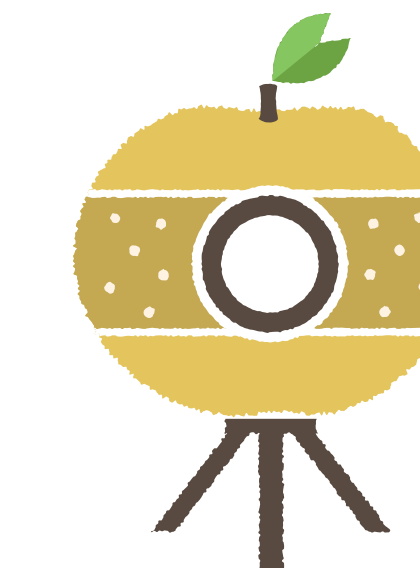
白井写真部

「晩秋の雄大な朝日」

小野 喜作



晩秋の早朝散歩で日の出の瞬間に出会いました。
真っ赤に染めた雲に光が差し天空の美しさを感じ一瞬を撮りました。
春になると国道 464 号線沿いサクラ並木が続きます。
四季折々を楽しめる街です。



白井写真部

「火点し頃 白井の空」

西田 幸



『白井は空が広い』

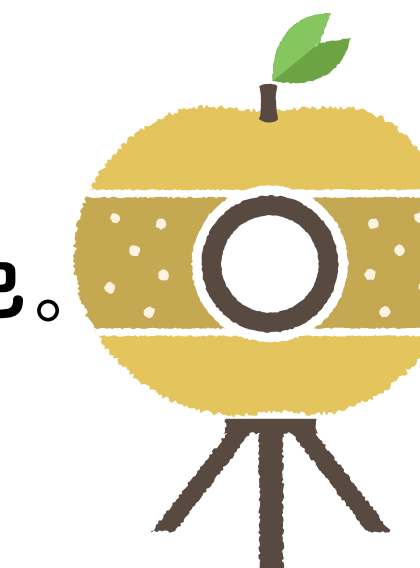
これは白井の魅力のひとつである。

わたしは白井で見る広い空が好きだ。

帰り道、ふと顔をあげると西の空が不思議な色合いになっていた。

家路につく車のテールランプが並んでいる。

いつまでも続いてほしい白井の街の何気ない日常の景色。



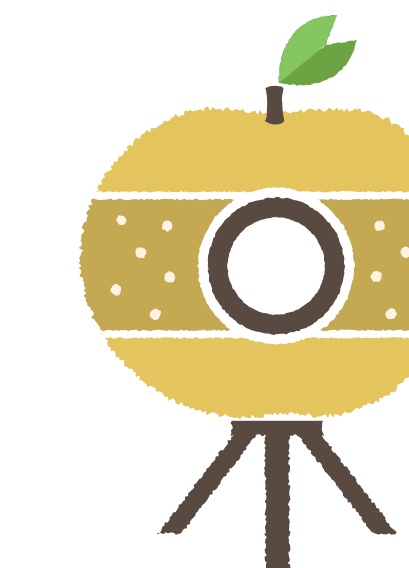
白井写真部

「なしぞら観測」

太宰 光彬



1年中美しい星空を楽しませてくれるプラネタリウムですが、夏の白井には梨が飛んでいるので、外で空を見上げるのもいいかもしれません。もし見逃しても、また来年に期待しましょう。



白井写真部

17

「堀込1丁目から見る白井の街」

大作 卓也

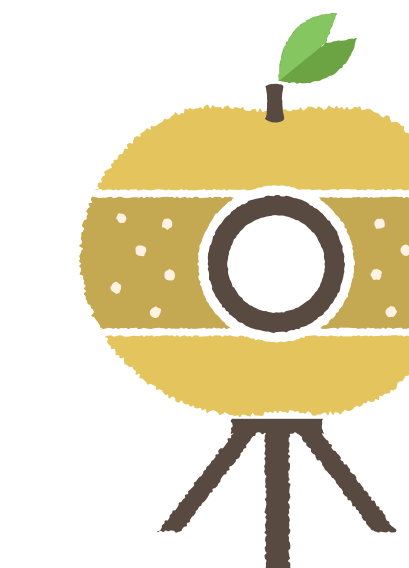


白井市に勤務して3年と半年が経ちました。

初めて白井の街を見たときに感じた、空の広さ、

遠くの景色まで見渡すことができる感動をフィルム写真に収めました。

景観の美しさは、きっとこれからも変わらない白井市の大きな魅力だと思います。



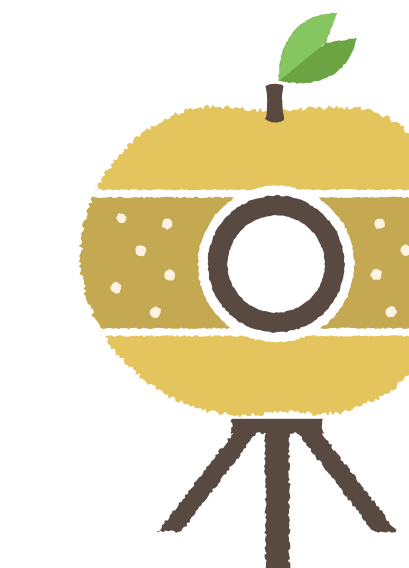
白井写真部

「花咲く街角」

大森 三千雄



白井市は沿道緑の推進事業を行っており、
道路脇の空き地や遊歩道に草花が植えられ地域の人たちが整備しています。
その花（紅葉葵）と道ゆく人、街並みを撮影しました。



白井写真部

「久しぶりの『いってらっしゃい』」

大槻 飛鳥

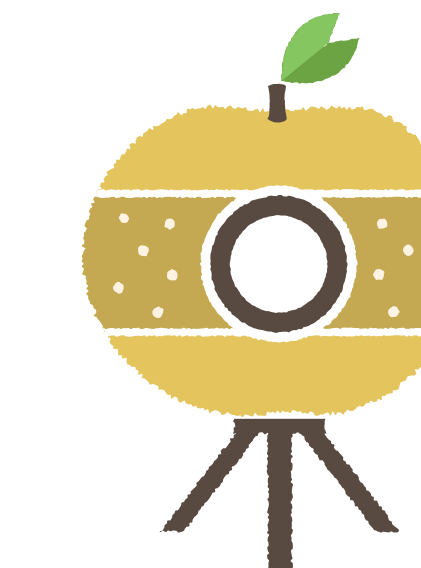


夏休みが終わった登校初日、子供の見守りで一緒に歩いていきました。

1年生の時は隣を歩いていたのが、親の少し前を歩くように。

「少年は手を離せ、目を離すな」

成長が頼もしく、少し寂しい朝。



白井写真部

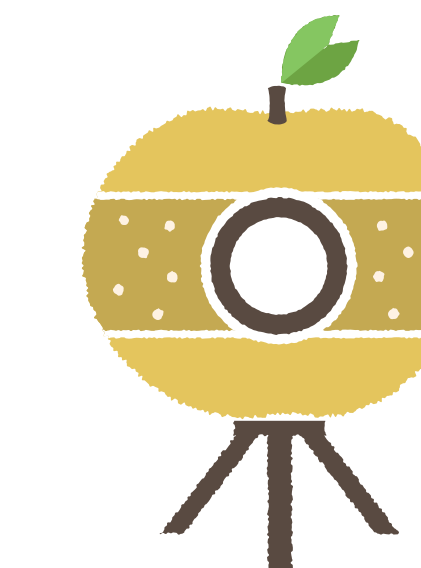
20

「春の雪遊び」

大庭 靖雄



梨畑の脇の広場に薄く積もった雪で雪だるま



白井写真部

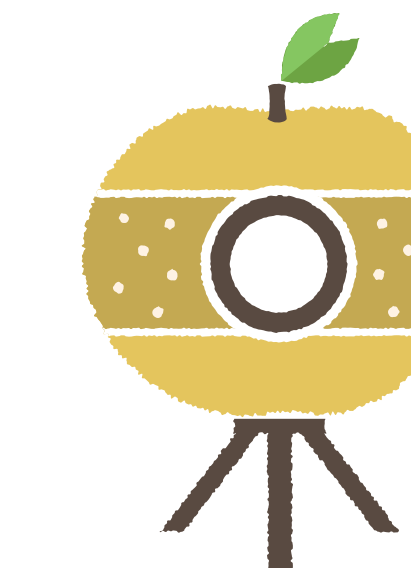
21

「爽やか&清々しい Blue」

竹島 浩



コロナ流行以降の運動不足が気になり、ポールウォーキング講習会に参加しました。
会場の白井運動公園内の陸上競技場を訪れると、
真っ先に青い陸上トラックが目飛び込んできました！
その爽やかで清々しいブルーの。「ブルー」は気持ちがりラックスし、
集中力を高める効果が期待できるそうです。
お陰様で気持ちよくウォーキングを楽しめました。



白井写真部

「原風景 @ 白井」

塚本 勝政



残したい原風景。

都会にも近い白井市は、自然もたくさん。

喧騒を忘れさせてくれる、広い空、色濃い自然、朝の目覚めは鳥のさえずりで。

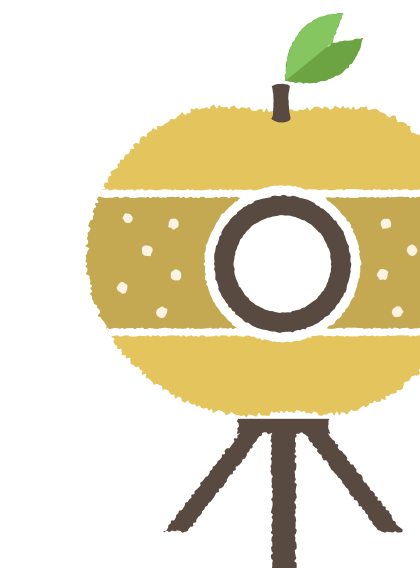
春には桜が咲き誇る今井、夏～秋はどうかと思って訪れてみました。

広がる白い雲に加えて、木々の緑、空と水コンテナの青、

黄金の稲穂、遠く見える鉄塔と車の赤。

多種の色彩に加えて、どこまでも続くようなあぜ道、歩く人、

盛りだくさんの一枚になりました。



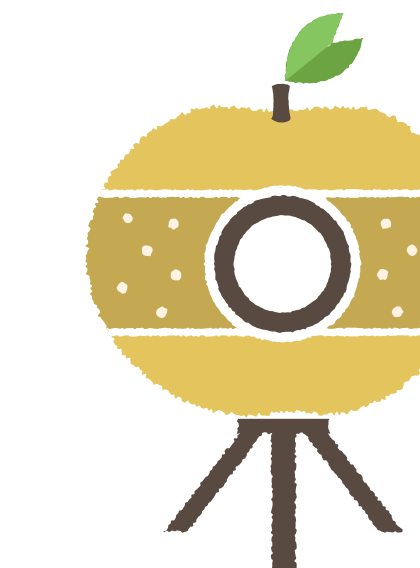
白井写真部

「今井の桜源郷」

唐澤 奈月



前日の夜の大雨が、翌朝は一転して晴れ。
散ってしまうのではないかと心配したが、老木たちは耐えてくれたようだ。
水田にたまった雨水が鏡のようになって、地中の水分が霧となって沸き上がる。
どこまでも続くまるで桃源郷のような、
いやここは桜源郷なのかもしれない。



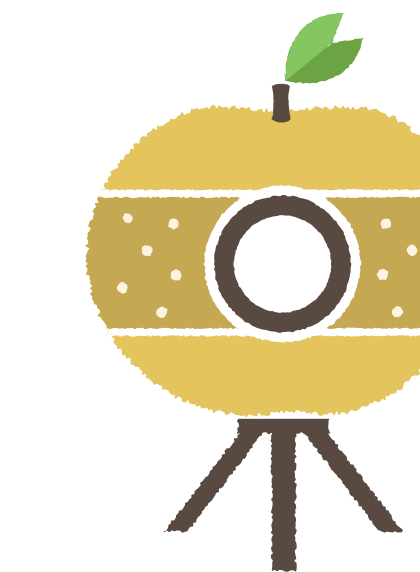
白井写真部

「ここから始まる一日」

日浅 玉輝



駅前に並ぶ無数の自転車は、白井の街で暮らす人々の日常を映しています。
通勤・通学、買い物や用事、それぞれの一日のスタート地点。
規則正しいリズムと活気がここから生まれ、
この街に住み続けたいと思わせる力になっています。



白井写真部

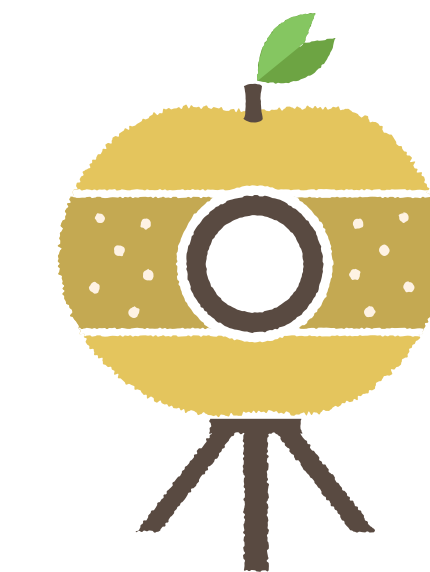
25

「ある日の日の出」

峯 謙二



自宅の窓から撮った、ある日の日の出の瞬間です。
日の出の太陽の位置は毎日変化していきますが、
うまく鉄骨の枠内に収まりました。



白井写真部

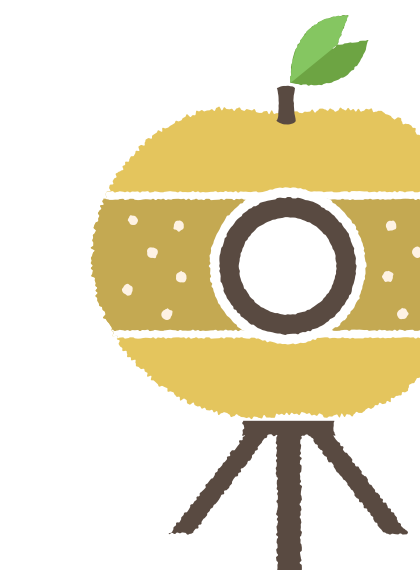
26

「この広さが白井の宝物」

堀内 秀紀



子どもたちが自由に遊び、安全に走り回ることができる“広い空と芝生”。
青空の下、家族で過ごす時間が、子どもたちの未来への希望を育みます。
白井には、暮らしのすぐそばに、こんな素敵な場所があります。
日常の安心感と、豊かさを感じさせてくれる、
この街の大きな魅力です。



白井写真部

「吉岡の桜、時を重ねて」

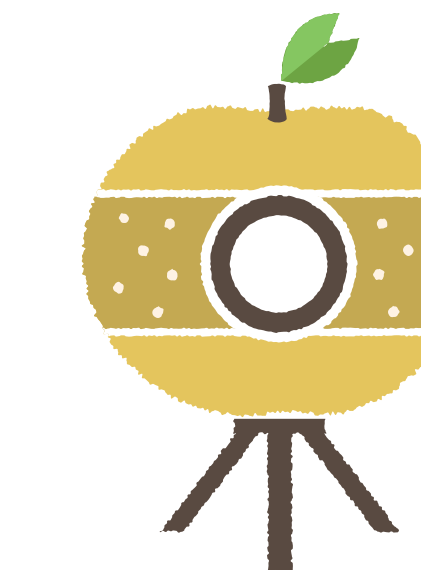
鈴木 なつえ



子供の小学校入学式、ピカピカのランドセルと一緒に撮った吉岡の桜。
今は愛犬と白鳥に出会う春。

毎年変わらず咲く桜の景色が愛おしい。

白井で過ごす穏やかな日々が、ずっと続きますように。



白井写真部

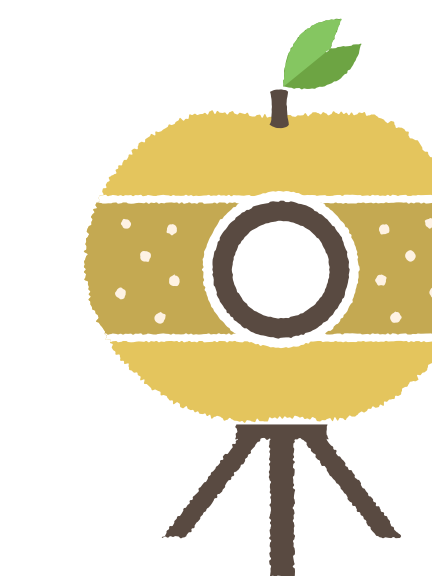
28

「ひろい しろい ひろい ないみりよく」

高澤 弘一



白井市には、大きくて高い建物も、目を引くような派手な施設も多くはありません。
けれども、遠くまで続く地平線と、広々とした空が生み出す景色は、
見る人の心を静かに癒してくれます。
静かで落ち着いた環境、視界を遮るもののない広がり
そこには「多くのものがないこと」が生む、豊かな魅力があります。
特別に有名なお店があるわけではないけれど、
この何気ない日常と、解放感に満ちた風景が
ここに住み続けたいと思わせてくれます。



白井写真部

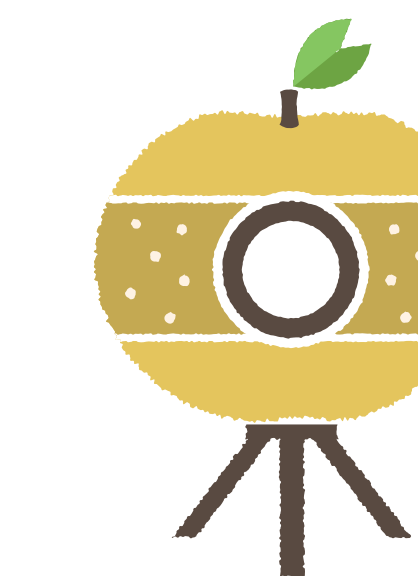
29

「春うらら」

柿沼 史規



白井は桜のスポットが、いくつかあります。
その中でも一番のスポットが今井の桜です。
そこで桜と、白井ならではのゆっくりとした風景を、撮影しました。



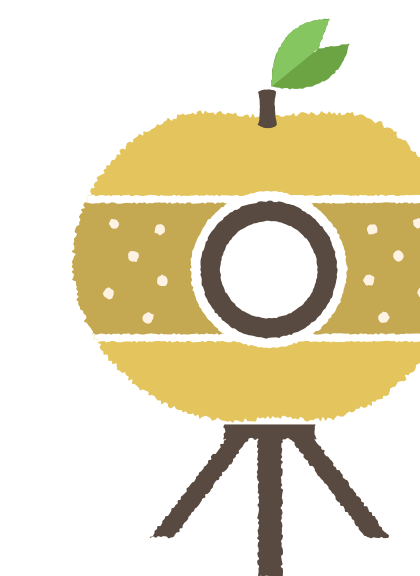
白井写真部

「トンネルアート」

福島 潮



十余一公園のトンネルには市内の中学生によるイラストが描かれています。
トンネルの先には日々変わりゆく公園の風景が見え、
トンネルがまるで絵画の額縁のように見えたので撮ってみました。



白井写真部

31

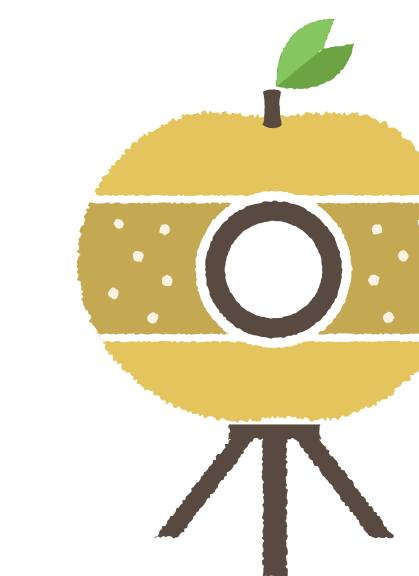
「明日、七次第一公園で」

久野 芙美佳



白井に住む前は、近所付き合いは殆どありませんでしたが、
白井に暮らし始めてから近所の人との交流が生まれ、
公園でモルックをすることもあります。

この写真は、前日に撮影の相談をしたところ、快く集まってくれた時のものです。
近所ならではの気軽さで集まれる時間は、
小学生時代に戻ったかのような楽しいひとときです。



白井写真部

「神輿と櫓 富士南園区の夏祭り」

吉田 喜一

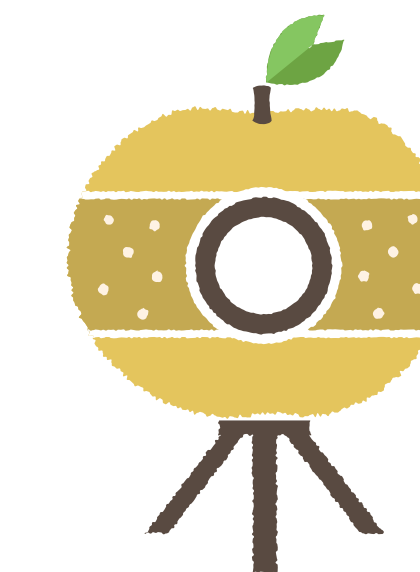


神輿は全て手作りで、上部の鳳凰は京都に行き西陣織を購入して巻いた物です。

全体に出来栄えの良い力作だと思います。

また、櫓の骨組み以外は、前日富士地区の会員により飾り付けや屋台などを設置して、当日は屋台で販売をしています。

富士地区では、他の行事も行い地域の和が有り、「住み続けたい街白井」です。



白井写真部

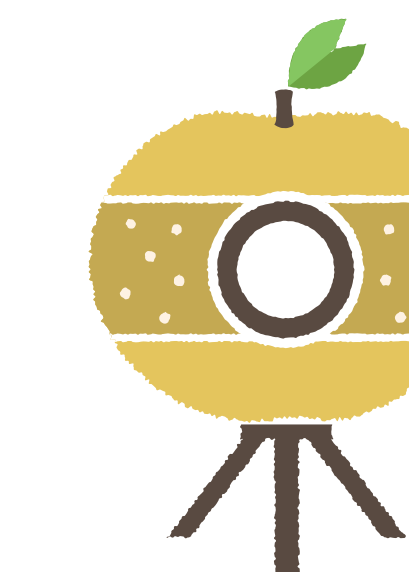
33

「東京都心と富士山を見下ろす街・白井」

峯村 俊廣



白井市は、東京および富士山と一緒に眺めることができる高台にある街であり、空の広さと東京都心と富士山の対比を表現しました。



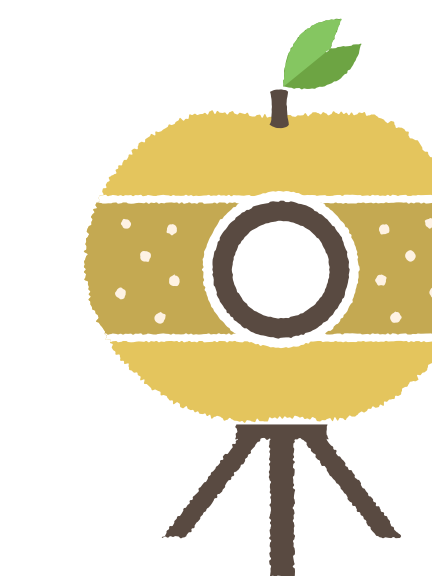
白井写真部

「暖かい灯」

末政 昇



我が町では、暗くなると暖かい灯が点ります。
外は寒くとも、暖かい気持ちになれます。



白井写真部